

# 資料編

# I 用語説明集

---

## ■アーカイブ

重要記録を保存・活用し、未来に伝達、残していくこと。

## ■アンコンシャス・バイアス

日本語で「無意識の思い込み」を指し、個人の経験・価値観・見聞きした情報などから形成される、気づかぬうちに抱いている偏った認識やイメージのこと。

## ■インバウンド

インバウンドツーリズムの略。外国人の訪日旅行また、訪日旅行者のこと。

## ■カーボンニュートラル

何かを生産したり、一連の人為的活動を行ったりする際に、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量であるという概念のこと。

## ■関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、継続的な関心や交流などを通じて、地域と多様に関わる人々のこと。

## ■緊急輸送道路

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のこと。

## ■ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインに気づき、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守るなどの適切な対応を図ることができる人のこと。「命の門番」の意。

## ■国立社会保障・人口問題研究所

厚生労働省に所属する研究機関で、人口や世帯の動向を捉えるとともに、国内外の社会保障政策や制度についての研究を行う機関のこと。

## ■コンベンション

人、情報、知識、物などの交流の場、集りのこと。ある地域や国へ人、情報、知識、物を呼び込むシステムを総称して用いられている。

## ■再生可能エネルギー

太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として持続的に利用することができると思われるもの（太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・バイオマス等）。

## ■サテライトオフィス

都市周辺部に設置され、都市部にある本社とデジタル通信などによって情報交換を行うオフィス。職住近接を目的とする。

## ■ジェンダーギャップ

性別によって生じる社会的・経済的・政治的・教育的な格差を指す概念のこと。

## ■ジオパーク

地球・大地（ジオ）と公園（パーク）を組み合わせた造語で、「大地の公園」を意味し、地球を学び、丸ごと楽しむことができる場所のこと。

## ■消滅可能性自治体

人口減少や少子高齢化の進行により、将来的に地域社会の維持が困難となり、消滅する可能性があると考えられる自治体のこと。

## ■食品ロス

本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。

## ■スクールカウンセラー

教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家のこと。児童・生徒に対する相談のほか、保護者及び教員に対する相談や教員等への研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童・生徒の心のケアなどを行う。

## ■全国名水百選

環境庁（現環境省）が選定した全国各地の「名水」とされる 100 か所の湧水・河川（用水）・地下水のこと。

## ■多様性（ダイバーシティ）

性別、年齢、国籍、障害の有無、性的指向、ジェンダーアイデンティティなど、人々が持つさまざまな違いを相互に尊重し、誰もが安心して暮らし・働き・参画できる状態を指す。

## ■地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域等に移住して、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのこと。

## ■デマンド交通

予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのこと。

## ■テレワーク

ICT（情報通信技術）などを利用して、自宅など職場以外の所で業務を行うこと。Tele（離れた所）と Work（働く）をあわせた造語。

## ■特定技能

2019 年に開始された日本の在留資格。人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れていくもの。

## ■特定健診

40～74 歳までの人を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行われる健康診査のこと。

## ■認知症カフェ

認知症を患う人やその家族などが、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合うことのできる場のこと。

## ■認定こども園

保育と幼児教育を一体的に行う施設のこと。

## ■ビッグデータ

一般的なデータ管理・処理ソフトウェアで扱うことが困難なほど巨大で複雑なデータの集合のこと。

## ■病児・病後児保育

保育所等に通っている子どもの病気が回復しつつあるものの、通常の保育を受けることが難しく、保護者が就労など家庭での保育も困難な場合、子どもを預けることができる保育サービスのこと。

## ■不育症

妊娠しても流産を繰り返してしまう状態のこと。

## ■複式学級

2つ以上の学年をひとまとめにした学級のこと。

## ■5G

第5世代移動通信システム。次世代通信システムの中心となる革新的な通信技術で高速かつ大容量、低遅延、多接続性などの優れた性能がある。

## ■フレイル

加齢とともに心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態のこと。

## ■メンタルヘルス

精神面における健康状態のこと。

## ■立地適正化計画

地域交通の再編と連携し、生活サービス機能を計画的に誘導した人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりを目指した都市全体の計画のこと。

## ■ワークショップ

体験型講座のことで、一方的な講座等への参加ではなく、参加者が実際に参加・体験すること。

## ■ワークライフバランス

性別・年齢を問わず、誰もが働きやすく多様な生き方ができる社会を目指し、Work（仕事）とLife（仕事以外の生活）を調和させること。

## ■AI (Artificial Intelligence)

人工知能。コンピュータで、記憶・推論・判断・学習など、人間の知的機能を代行できるようにモデル化されたソフトウェア・システムのこと。

## ■CIR

JET プログラムにより地方公共団体の国際交流担当部局等に配置され、国際交流活動に従事する外国青年のこと。

## ■DX (デジタルトランスフォーメーション)

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、製品・サービス・ビジネスモデル、業務、組織、企業文化を変革し、競争上の優位性を確立すること。

## ■Iターン

出身地とは別の地方に移り住むこと（特に都市部から田舎に移り住むことを指すことが多い）。

## ■ICT (Information and Communication Technology)

情報や通信に関連する科学技術の総称。

## ■IoT (Internet of Things)

あらゆる物がインターネットに接続され、相互に情報交換する仕組みで、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことができ、生活の中での様々なサービスが可能になる。物のインターネット。

## ■Jターン

故郷から進学や就職等で都市部に移住した後、生まれ育った故郷とは異なる地方に移住すること。

## ■KDB

国保（国民健康保険）データベース。国保連合会が保険者の委託を受けて行う各種業務を通じて管理する特定健診・特定保健指導、医療、介護保険等の情報のこと。

## ■Ngo

政府から独立した民間の非営利組織で、開発・貧困・人道・環境など国際的な社会課題に取り組む団体。

## ■NPO

利益を構成員へ分配せず、社会貢献活動を行う非営利組織全般を指す。日本では、特定非営利活動促進法に基づく「NPO 法人」が代表的で、市民の自由な社会貢献活動の発展を目的とする。

## ■RPA (Robotic Process Automation)

パソコン上の操作を記録して人の代わりに作業するソフトウェア型のロボットのこと。

## ■SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール等から構成されている国際目標のこと。

## ■SNS (Social Networking Service)

ソーシャル（社会的）なネットワーキング（繋がり）を提供するサービスの総称。インターネットを通じて趣味・趣向の近い人たちとコミュニケーションを取ったり、人間関係を構築したりすることのできるスマートフォンやパソコン用のWeb サービスのこと。

## ■Society5.0

日本政府により閣議決定された科学技術政策の基本指針の一つ。人工知能・ビッグデータ・ユビキタス関連の情報技術を従来の技術と組み合わせ、社会のあらゆる分野で新しい製品やサービスを提供できるよう、研究や開発、投資を進めようとするもの。

## ■Uターン

地方から都市部に移住した人が、再び地方の生まれ故郷に戻ることに。

## ■Wi-Fi

パソコンやテレビ、スマートフォンなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線（ワイヤレス）でLAN (Local Area Network) に接続する技術のこと。

## II アンケート調査の結果

### 1. 入善町総合計画後期基本計画策定のための住民意識調査

#### 1. 調査目的、調査内容

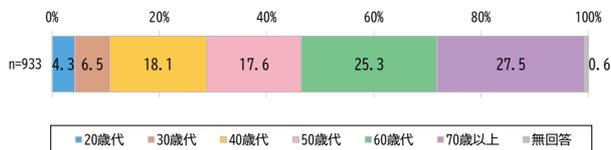
行政サービスや今後のまちづくりについて、町民の意見や要望を検証することにより、人口減少時代の課題を整理するとともに、総合計画前期基本計画の達成状況の評価と見直しに向けた基礎資料とします。

調査方法	配布・回答：郵送による無記名調査。
調査対象	入善町に在住の20歳以上を対象に無作為に抽出した2,000人（令和6年10月1日時点）。
調査期間	令和6年11月1日（金）～11月18日（月）
回収数	933人（有効回答率46.7%）

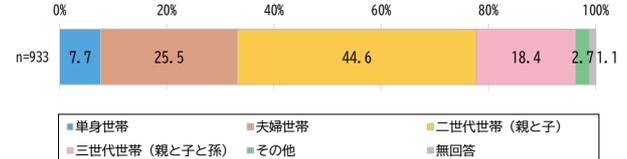
#### 2. 調査結果

##### 回答者属性（Q1）

###### 年齢



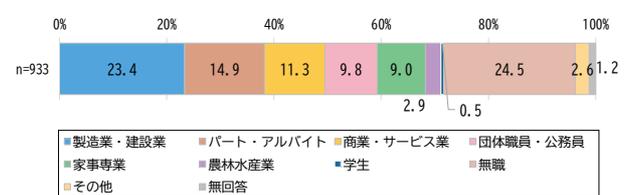
###### 家族構成



###### お住まいの地区

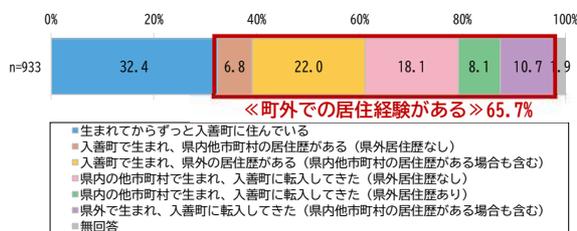


###### 主な職業



##### 町の居住歴（Q2-1）

「生まれてからずっと入善町に住んでいる」が約3割。  
 ≪町外での居住経験がある≫のは6割以上。



※≪町外での居住経験がある≫:

- 「入善町で生まれ、県内他市町村の居住歴あり」（県外居住歴なし）
- + 「入善町で生まれ、県外の居住歴がある」（県内他市町村の居住歴有も含む）
- + 「県内の他市町村で生まれ、入善町に入居してきた」（県外居住歴なし）
- + 「県内の他市町村で生まれ、入善町に入居してきた」（県外居住歴あり）
- + 「県外で生まれ、入善町に入居してきた」（県内他市町村の居住歴有も含む）

##### 町での生活の満足度（Q4）

≪満足している≫と感じているのが約6割。

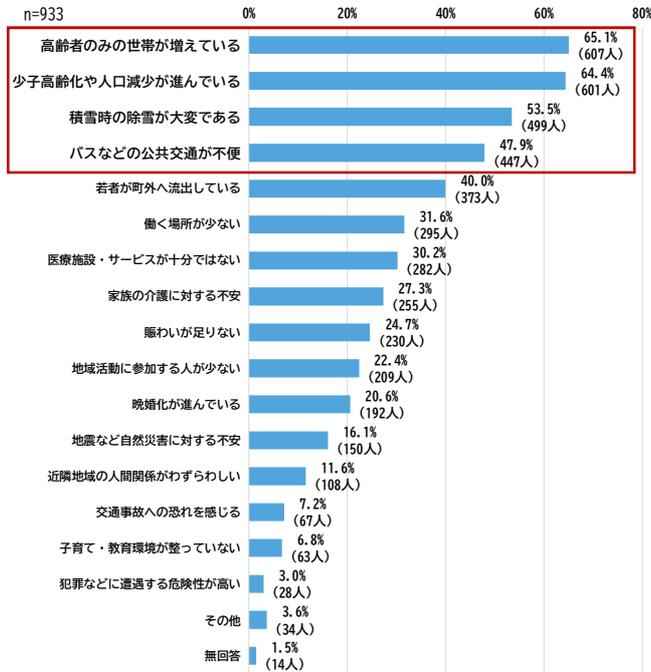


※≪満足≫: 「満足している」 + 「どちらかといえば満足している」

※≪不満≫: 「どちらかといえば不満だ」 + 「不満だ」

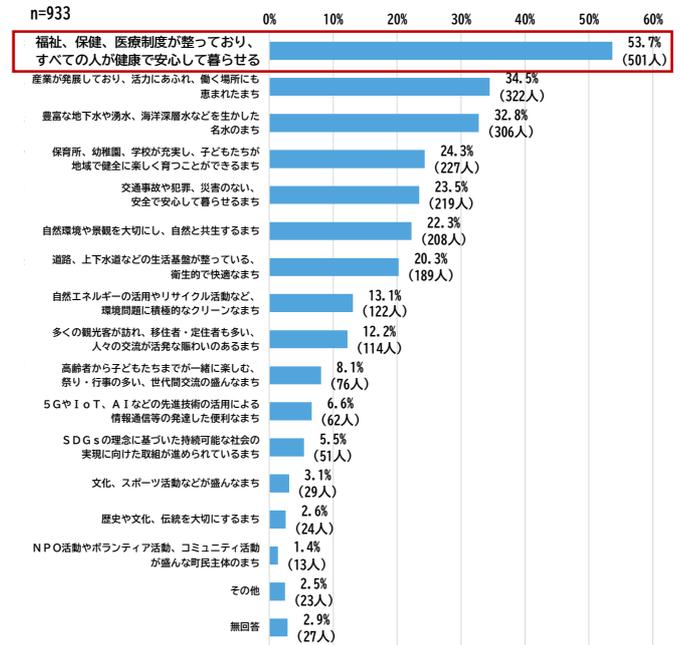
## 町での生活で感じる問題 (Q7)

「高齢者のみの世帯が増えている」、「少子高齢化や人口減少が進んでいる」が6割を超え、「積雪時の除雪が大変である」、「バスなどの公共交通が不便」が約5割。



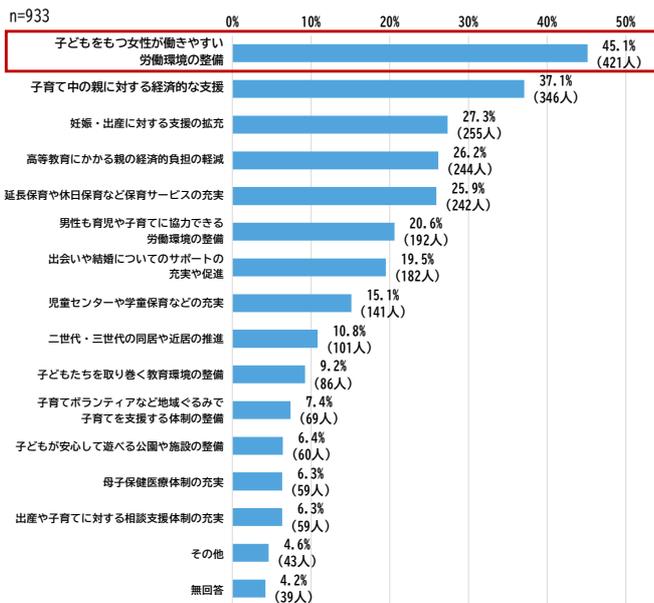
## 町の将来像(Q10)

「福祉、保健、医療制度が整っており、すべての人が健康で安心して暮らせるまち」が5割を超える。



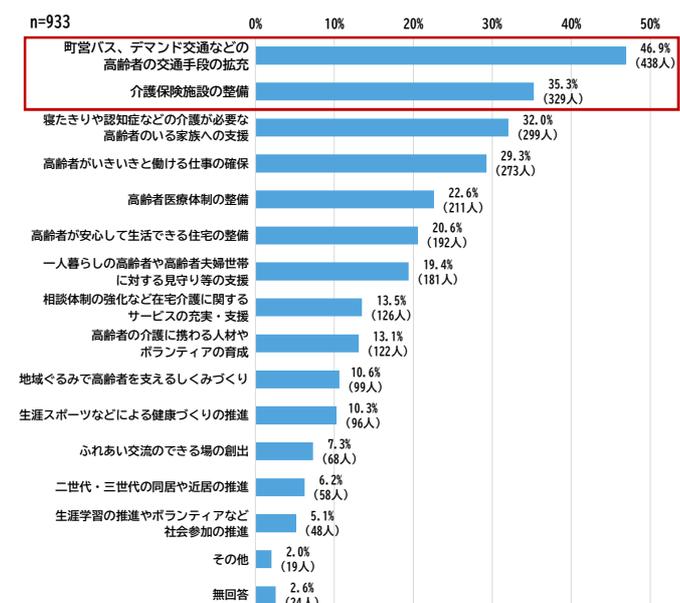
## 今後、力を入れるべき少子化対策 (Q14)

「子どもをもつ女性が働きやすい労働環境の整備」が約5割。



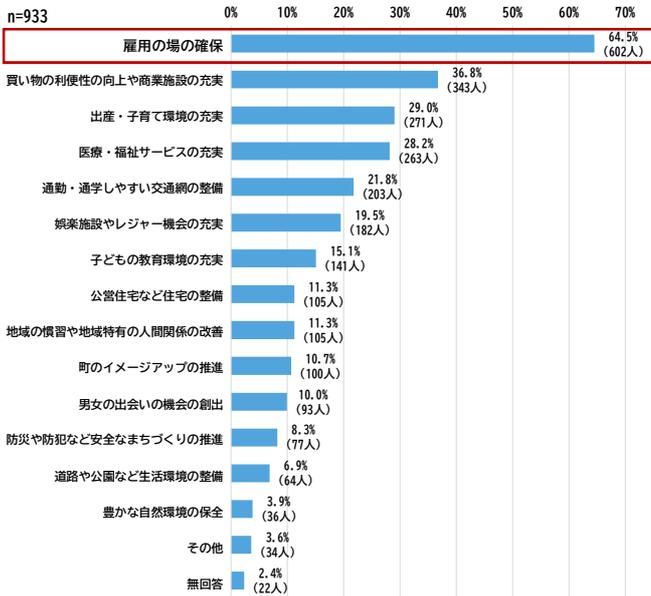
## 今後、力を入れるべき高齢者対策 (Q15)

「町営バス、デマンド交通などの高齢者の交通手段の拡充」が約5割、「介護保険施設の整備」が約4割。



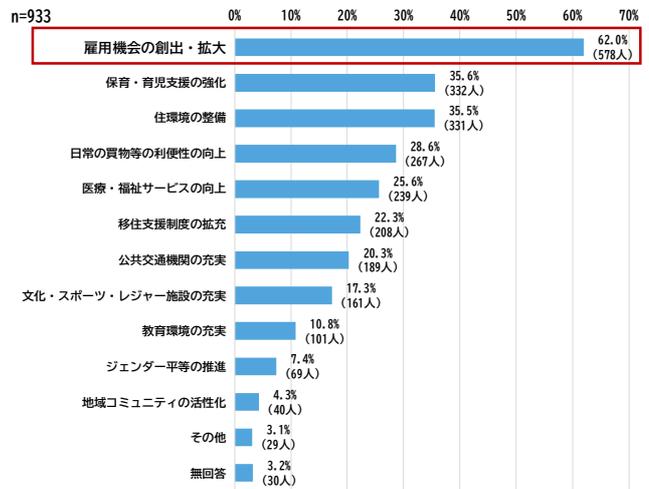
今後、力を入れるべき移住・定住対策（Q16）

「雇用の場の確保」が6割を超える。



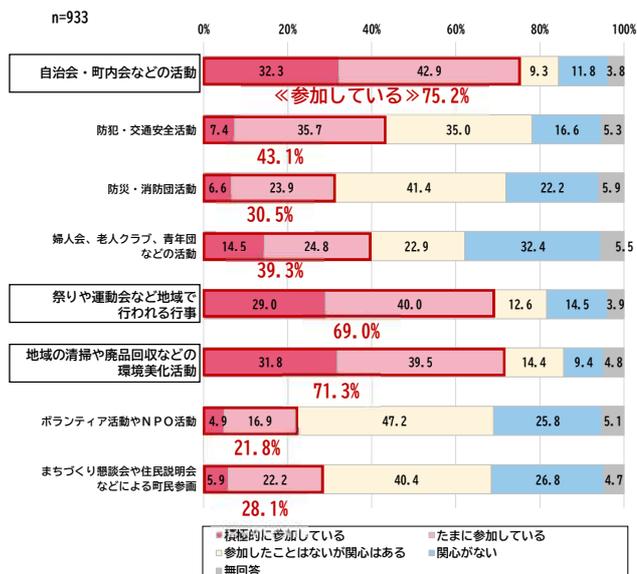
若者の転出抑制、転入促進の取組み（Q17）

「雇用機会の創出・拡大」が6割を超える。



地域コミュニティ活動への参加（Q18）

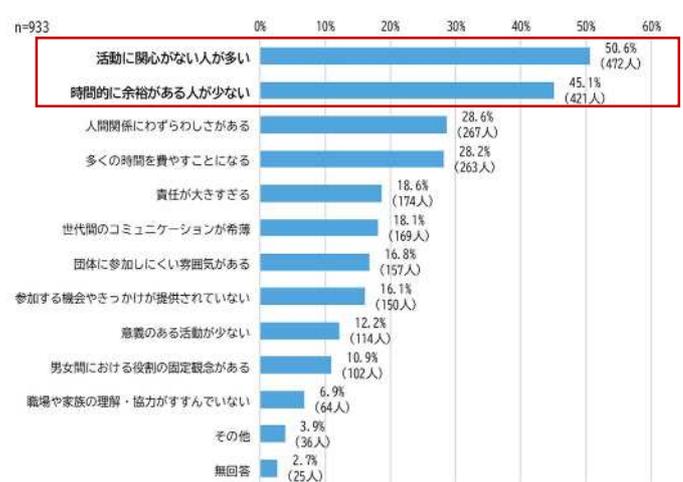
「自治会・町内会などの活動」、「地域の清掃や廃品回収などの環境美化活動」、「祭りや運動会など地域で行われる行事」へ「参加している」が過半を占める。



※「参加している」：「積極的に参加している」+「たまに参加している」

コミュニティ活動の問題点（Q19）

「活動に関心がない人が多い」が過半を占め、「時間的に余裕がある人が少ない」が4割を超える。





## 2. 若者の将来に関するアンケート調査

### 1. 調査目的、調査内容

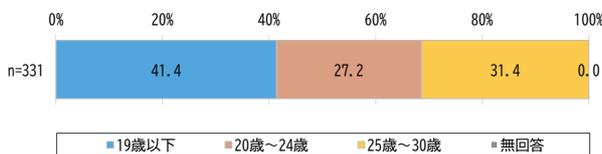
総合計画後期基本計画の策定に向けた基礎資料として活用することを目的として、若者を対象に町の魅力や問題点、今後の居住意向や結婚の意向、将来像等についてのアンケート調査を実施しました。

調査方法	配布：郵送による無記名調査 回答：郵送又はインターネット。
調査対象	入善町に在住の16歳から30歳までを対象に、無作為に抽出した1,000人。(令和6年10月1日時点)
調査期間	令和6年11月1日(金)～11月18日(月)
回収数	331人(有効回答率33.1%) ⇒内訳：郵送回答が52.3%、Web回答が47.7%。

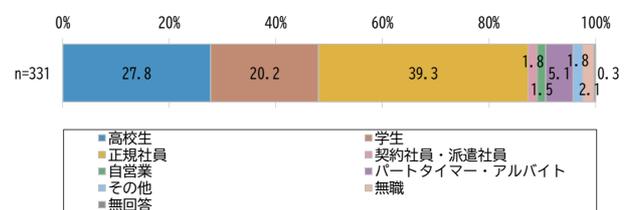
### 2. 調査結果

#### 回答者属性 (Q1)

##### 年齢



##### 職業



#### 現在の生活の満足度 (Q2)

《満足している》が8割以上。



※《満足している》：「十分に満足している」+「まあ満足している」

※《満足していない》：「あまり満足していない」+「全く満足していない」

#### 町に対する愛着 (Q3)

《愛着を感じている》が6割以上。

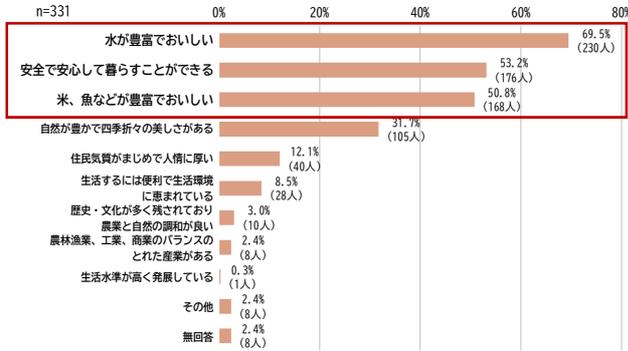


※《愛着を感じている》：「とても感じている」+「やや感じている」

※《愛着を感じていない》：「あまり感じている」+「全く感じている」

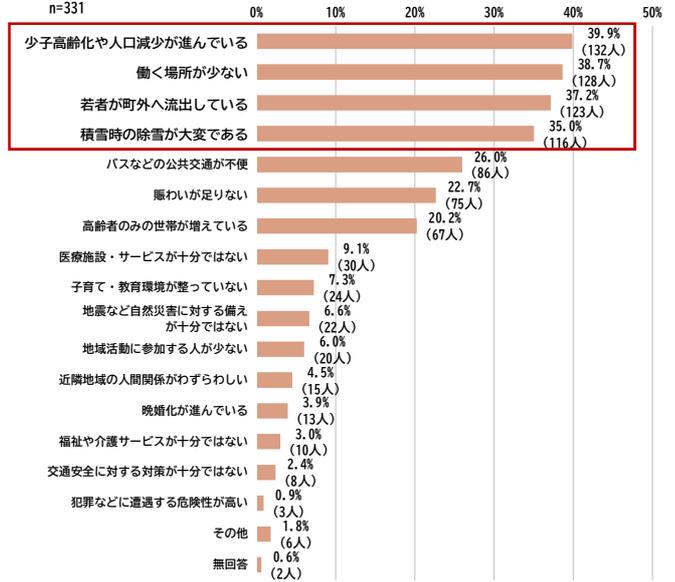
## 町の良い点や魅力(Q4)

「水が豊富でおいしい」が約7割。「安全で安心して暮らすことができる」、「米、魚などが豊富でおいしい」が5割を超える。



## 町の問題点(Q5)

「少子高齢化や人口減少が進んでいる」、「働く場所が少ない」、「若者が町外へ流出している」、「積雪時の除雪が大変」が3割を超える。



## 町にずっと暮らしたいか (Q8)

「町に住み続ける+将来的に町にもどりたい」が約4割。「いずれ町外に住むと思う」が4割を超える。



※「町に住み続ける+将来的に町にもどりたい」:

- 「できるかぎり入善町で住み続けたい(住み続けるしかない)」
- + 「大学等への進学で離れるが就職を機に入善町に戻りたい」
- + 「仕事の関係で町を離れるが、いずれ入善町に戻りたい」

※「いずれ町外に住むと思う」:

- 「進学や就職を機に入善町以外に住むと思う」
- + 「結婚を機に入善町以外に住むと思う」
- + 「転職(転勤)を機に入善町以外に住むと思う」
- + 「住居の関係で入善町以外に住むと思う」
- + 「その他の理由で入善町以外に住むと思う」

## あなたが望む5~10年後の町の将来像 (Q14)

「産業が発展しており、活力にあふれ、働く場所にも恵まれたまち」、「保育所、幼稚園、学校が充実し、子どもたちが地域で健全に楽しく育つことができるまち」、「福祉、保健、医療制度が整っており、すべての人が健康で安心して暮らせるまち」が3割を超える。

